

2022/04/11（月）

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 5章 9節（新約聖書6頁）

平和を実現する人々は、幸いである、  
その人たちは神の子と呼ばれる。

微笑み

聖書は神様へのつぶやきから誕生しました。旧約聖書に詩編というのがありますが、今から約3500年前に小さな家族が旅をしながらつぶやいた言葉です。それが祈りとなりドラやシンバルなどで奏でられ、歌われ、後世のため集められたのが聖書の始まりです。

彼らには家がありませんでした。羊や山羊を連れて水と青草を求め、旅を続けました。また日が落ちると夜通し獣や泥棒から羊たちを守りました。そして朝に日が昇り、夕に日が沈めば共に集まり神様に悲しみ嘆き、罪の赦しを求め、感謝と願いを献げたのです。

マザー・テレサという修道女をご存じでしょうか。彼女がノーベル平和賞受賞した時、「世界平和のために何をしたらいいのでしょうか」と尋ねられました。彼女は「帰って、家族を大切にしてください」「平和は微笑みから始まります」と答えたと言われています。

人間は他の生き物と共に、大地や空という自然、地球と共に生活しています。寝食を共にする家族、共に働く者、身近で共に生きるものが互いを慈しみ、大切にしていれば、微笑みを交わすことから平和は始まるのではないのでしょうか。

（しばらく黙祷しましょう）

すべてのものに命を与え、成長させてくださる神様、英和女学院の新しい一年が始まりました。どうか神様に守られ、導かれ成長させてください。また日本、世界で困難な生活にある人々、特にウクライナ、ロシア、そして世界の人々が互いに慈しみ、微笑みを交わす時をひと時でも早く実現してください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン